

第 3 学力検査及び面接

- 1 志願者に対し、次により本校において学力検査を実施する。
- 2 学力検査終了後、全員に対して面接を実施する。
- 3 学力検査及び面接の日程は、表のとおりである。
 - (1) 受検教科は国語（作文を含む。）を必須とし、社会、数学、理科、英語の 4 教科から 2 教科を出願時に選択し、合計 3 教科を受検する。
 - (2) 受検時には各教科とも検査開始 5 分前までに入室することとし、検査開始の時刻までに入室しない者は、原則としてその時間の教科を受検できないものとする。
 - (3) 第 2 日目が面接のみの受検者は、面接開始 30 分前までに面接控室に入室しなければならない。
 - (4) 受検者の持参品は、学力検査受検票、鉛筆（シャープペンシルも可）、鉛筆削り、消しゴム、コンパス、定規（分度器兼用のものを除く。）、上履き、弁当とする。
 - (5) 上記以外のもの（分度器、計算・翻訳・通信等の機能をもった物品等）の学力検査場への持込みは、禁止する。

平成31年 3 月 7 日（木）		平成31年 3 月 8 日（金）	
9:00～ 9:30	点呼・受検上の注意	9:00～ 9:30	点呼・受検上の注意
9:45～10:30	国 語	9:45～10:35	数 学
10:45～11:10	国語（作文）	10:50～11:50	英 語
11:25～12:15	理 科	11:50～12:50	（昼 食）
12:15～13:10	（昼 食）	13:00～	面 接
13:15～14:05	社 会		

◎ 合格者の発表

- 1 合格者発表日時 平成31年 3 月 18 日（月） 午前10時
- 2 合格者発表場所 本校北教棟南側（書道教室）付近
- 3 合格者への注意 合格者発表時に、合格者に対し入学準備に関する注意事項の掲示があるので注意すること。

第 4 第 2 次 募 集

- 1 募集人員は、募集定員から第 1 次募集における合格者数を差し引いた数を第 2 次募集の募集人員とし、平成 31 年 3 月 18 日（月）午前 10 時に第 1 次合格者の発表場所に掲示する。
- 2 出願資格及び手続は、第 1 次募集の場合に準ずる。ただし、志願変更はできない。
- 3 志願者は平成 31 年 3 月 18 日（月）から 3 月 22 日（金）までの間に、入学願書、受検票の用紙を本校事務室に請求すること。
- 4 入学願書は、中学校長がとりまとめて、平成 31 年 3 月 19 日（火）午前 9 時から 3 月 25 日（月）正午までに本校に提出するので、志願者はそれに間に合うように早めに中学校等へ提出しなければならない。（郵送の場合も同期間内に必着のこと。）
なお、納入した入学選考料は一切返還しない。
- 5 学力検査及び面接の実施期日及び日程

期 日	時 間	教 科 等
平成31年 3 月 28 日（木）	9 : 3 0 ～ 1 0 : 0 0	点呼・受検上の注意
	1 0 : 1 5 ～ 1 0 : 4 5	国 語
	1 1 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0	社会・数学・理科・英語 のうち 2 教科を選択受検
	1 2 : 0 0 ～ 1 3 : 0 0	（昼 食）
	1 3 : 1 0 ～	面 接

- 6 合格者の発表は、平成 31 年 3 月 29 日（金）午前 10 時に本校南教棟西側（正門入って右手突き当たり）付近に掲示する。合格者は入学手続関係書類を事務室で受け取ること。
- 7 その他入学選抜関係事項は、すべて第 1 次募集の場合に準ずる。

第 5 学校の概要

1 指導目標

- (1) 礼節 礼儀を重んじ、豊かな心情の育成をめざす。
- (2) 勉学 主体的学習の定着化と、職業的技能の育成をめざす。
- (3) 鍛錬 部活動の活発化と健全な心身の錬成をめざす。

2 特色

勤労青少年を対象とした、男女共学・修業年限3年以上の夜間定時制である。

人間教育に重点をおき、上記指導目標の達成を期するとともに、有為な商業人の育成に努めている。

特に、働きつつ学ぶ生徒の実態に適応するよう、学校生活に細心の配慮をしている。

3 教育課程

産業界におけるビジネス業務に従事するために必要な知識や技術を習得させ、また、社会人としてより高い教養を身に付けさせることを目的として、基礎学力の向上に努めている。

なお、パソコンやワープロなどについても学習し、急速な技術革新の進展や就業構造の変化に対応できるよう配慮している。さらに、ホームルーム活動や学校行事等を重視して、生徒に豊かな人間性を身に付けさせることに努めている。

4 三修制（3年間で卒業を目指す制度）

3年間で卒業するには、以下のことが必要です。

- (1) 学校で組まれた3年生までのすべての授業を履修・修得。
- (2) 愛媛県立松山東高等学校通信制との定通併修により、3科目12単位の修得。
- (3) 16:30からの0限目授業による単位の修得。（2年生：2単位）
- (4) 技能審査の成果の単位認定（3単位以上）
「珠算・電卓実務検定1級」（全国商業高等学校協会）、「ビジネス文書実務検定1級」（全国商業高等学校協会）等を取得することにより単位を修得。

5 取得できる資格

- 珠算・電卓実務検定 ○ 簿記実務検定 ○ ビジネス文書実務検定
- 情報処理検定 ○ 商業経済検定 ○ 英語検定

第 6 学資の概算

1 入学時の納入金（50,900円）

○ 入学金	2,100円	○ PTA会費（1年分）	4,800円
○ 生徒会費（1年分）	1,200円	○ 卒業積立金（1年分）	1,500円
○ 教材費	18,100円	○ PTA入会金	2,000円
○ 生徒会入会金	500円	○ 体操服・シューズ代	20,700円

2 授業料（年額 32,400円）

ただし、就学支援金が支給される場合は、授業料の負担はありません。

※この金額は30年度実績である。

第 7 厚生

1 奨学資金

- (1) 愛媛県奨学資金 中学校からの予約、入学後の新規募集
○ 奨学金 貸与月額 5,000円～18,000円（自宅外通学生は23,000円まで）
- (2) 愛媛県高校定時制課程修学奨励資金
○ 奨励金 貸与月額 14,000円

※この金額は30年度実績である。

第 8 その他

奨学のための給付金 32,300円～129,700円

ただし、保護者等全員の道府県民税所得割及び市町村民税所得割の合算額が非課税の世帯（生活保護受給世帯を含む）に限る。